

知財を活用した新規事業創出と知財経営戦略

実施日程	第1回：2024年1月17日（水）18：30～21：45 第2回：2024年1月24日（水）18：30～21：45 第3回：2024年1月31日（水）18：30～21：45
実施場所	弁理士会館（千代田区霞が関3-4-2）*本講座は現地集合研修での実施になります。
受講料	全3回：会員10,000円、非会員20,000円（いずれも税込・テキスト代込）
対象者	<ul style="list-style-type: none">● 知財を活用した新規事業創出について学びたい方● 知財経営戦略について学びたい方● 知財経営コンサルタントを目指す方● クライアントとのコミュニケーション力を高めたい方 ⇒クライアントのニーズを聞き出す力/クライアントのニーズに沿った知財戦略を構築する力/クライアントを動かす経営計画・支援策の策定力を高めます● 企業にお勤めの方 ⇒社内関係者に対する理解力・提言力を高めます
概要 ねらい	<p>「両利きの経営」に代表されるように、多くの企業において「既存の事業の深掘り（深化）」だけでなく「新たな事業機会の発掘（探索）」が志向されています。</p> <p>本講座では、特に後者の新規事業開発を念頭に、クライアント企業（又は自社）に対して知財専門家（弁理士）の立場・視点からどのようなアドバイスを提供すべきかについて解説します。</p> <p>新規事業開発をどのように捉え、どのようにイノベーションを実現していくかという戦略的観点、戦略立案に知財情報をどのように活用していくかという情報分析の観点、知財を活用した新規事業やアライアンスの実行に関する投資の観点などについて、実務に携わる3名の講師が、それぞれの立場から有機的に連携しながら事例も踏まえて紹介します。</p> <p>※ また実務に活かしやすいように、第1回、第2回の講義では簡単なワークショップを実施して具体的な実務イメージを持っていただくことを想定しています。</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none">✓ コンサルティングの基本となる戦略構築の考え方や分析フレームワーク、評価手法を理解し、知的財産の専門家としての強みを活かした企業支援ができるようになる。✓ 「知財を活用した新規事業創出」や「知財経営戦略」に関するコンサルティングに関して、ビジネス視点での戦略構築に必要な知財情報活用の手法を習得する。✓ ESG/SDGs 視点から、新規事業開発・企業価値向上に関して、知財の位置付けや技術/特許の評価手法を習得する。



小林 誠 (こばやし まこと)

株式会社シクロ・ハイジア 代表取締役 CEO

国際特許事務所、大手監査法人、外資系大手 M&A アドバイザリー会社を経て現職に至る。経営・事業戦略アドバイザー、M&A ファイナンシャルアドバイザー、知的財産戦略アドバイザーを専門としている。

製造業および ICT 業界における IP ランドスケープを中心とした事業戦略策定、新規事業開発、知財戦略策定、グローバル知財マネジメント、移転価格税制対応、知財組織体制構築、戦略人材育成、オープンイノベーション・ビジネスエコシステム構築・企業アライアンス支援等に従事。官公庁・地方公共団体・大学・公的研究機関等の公的事業、中小・ベンチャー・スタートアップ企業支援、地方創生・産業振興等にも携わる。

大阪大学特任教授、金沢工業大学大学院客員教授、大阪工業大学大学院客員教授、東京工業大学非常勤講師、NEDO 技術戦略研究センター客員フェロー、裁判所（知的財産権訴訟）専門委員などを現任。経済産業省、特許庁等の各種公的委員会において多数の委員長や委員を務める。

鮫島正洋弁護士との共著『知財戦略のススメ』を代表作に、『IP ランドスケープ経営戦略』等、著書・論文多数、「グローバル知財戦略フォーラム」でのモデレーターや、「IPBC Asia」でのスピーカーを務めるなど講演実績多数。IAM STRATEGY 300 GLOBAL LEADERS 2021, 2022, 2023 に選出されている。

担当
講師



野崎 篤志 (のざき あつし)

株式会社イーパテント 代表取締役社長/知財情報コンサルタント®

日本技術貿易株式会社、ランドン IP 日本オフィス立ち上げを経て、2017 年 5 月に知財情報コンサルティングのブティックファームである株式会社イーパテントを設立し、代表取締役社長に就任。技術動向分析、競合他社分析、知財デューデリジェンス、中長期戦略策定支援・発明創出ワークショップなどの知財情報コンサルティング®業務に従事。

著書に『調べるチカラ』（日本経済新聞出版社）、『特許情報分析とパテントマップ作成入門 第3版』（発明推進協会）、『特許情報調査と検索テクニック入門』（発明推進協会）、『欧州特許の調べ方』（共著、情報科学技術協会）などがある他、知財管理誌、日本弁理士会パテント誌などへ論文・寄稿多数。YouTube や note などを中心に特許情報検索・分析に関して積極的に情報発信。

K. I. T 虎ノ門大学院および大阪工業大学 知的財産専門職大学院 客員教授、特許庁や工業所有権情報・研修館の様々な調査研究事業で委員を務めている。

2019 年に特許情報普及活動功労者表彰特許庁長官賞受賞、第 44 回「情報科学技術協会賞」情報業務功労賞受賞。



永井 歩 (ながい あゆむ)

アスタミューゼ株式会社 代表取締役社長

東京大学大学院システム量子工学専攻修了。大学ではロボット工学・人工知能を学び、大学院では数値流体力学・原子力工学を専攻。大学在学中にソフトウェア会社に入社し取締役就任。2005年、大学院在学中にアスタミューゼ(旧パテントビューロ)を起業する。

世界193カ国、39言語、7億件を超える世界最大級の無形資産可視化データベースを構築し、独自に定義した136の”成長領域”と、SDGsに対応した人類が解決すべき105の”社会課題”を基に、新規事業/オープンイノベーション支援事業、データによる未来戦略構築、社会課題解決支援 SaaS 事業、データ分析による企業価値・無形資産評価事業等を立ち上げる。その中で、多数の大企業に対して、各企業の保有データを駆使した新規事業立ち上げ、既存事業のDXを支援。特に、データセンシング、データクレンジング、データマイニング等のビッグデータ関連テクノロジーに精通。

各大学(東京大学、京都大学、東工大など多数)、事業構想大学院大学、内閣府、経済産業省、特許庁、経済同友会などの大学・組織で、新規事業戦略、未来予測、最先端テクノロジー(量子・宇宙・3Dプリンタ等)のR&D/知財戦略に関する講演に多数登壇。

【第1回】 経営・事業戦略と知財戦略

講師：小林 誠 氏

<レクチャー&ワークショップ>

● イントロダクション

・研修の目的、学習内容の全体像の説明

● 新規事業開発・新規事業戦略の考え方と検討プロセス

・経営・事業戦略と知財戦略の関係性

・IP ランドスケープ、経営デザインシート、コーポレートガバナンス・コードの結節点

・戦略検討、戦略構築の考え方とプロセス

・事例紹介

● オープンイノベーションとオープン・クローズ戦略

・オープンイノベーションの重要性と留意点

・オープン・クローズ戦略の重要性と留意点

・事例紹介

● ワークショップ

・経営デザインシートの使い方の説明

・経営デザインシートを活用した新規事業創出検討

● まとめ

【第2回】 新規事業開発・アイデア創出のための知財情報活用

講師：野崎 篤志 氏

<レクチャー&ワークショップ>

● 新規事業開発のための知財情報活用

・新規事業創出のタイプ分けと知財情報活用

・情報分析起点の事例ー花王のヘルシア緑茶

・参考 | 後発企業の新規参入時の特許分析

● 新規事業開発案を検討するための特許分析テクニック

・新規事業開発を検討するためのアプローチ

・シーズドリブン | 自社強み起点

・ニーズドリブン | VOC (顧客の課題探索) 起点およびマーケット情報・将来予測起点

● ワークショップ②: グループ討議

・特定技術テーマの patents マップを用いたアイデア創出

内容
(予定)

	<p>・アイデア創出技法ーアイデアステアリングー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● まとめ <p>【第3回】サステナビリティ/未来視点での知財を活用した新規事業開発・企業価値向上 講師：永井 歩 氏 <レクチャー></p> <ul style="list-style-type: none"> ● サステナビリティ視点からの知財活用・投資促進 <ul style="list-style-type: none"> ・無形資産をサステナビリティ視点で捉える事の経営上のメリット ・サステナビリティ経営における活用可能な知財探索と活用プロセス ● 新規事業実現のための M&A・アライアンス戦略 <ul style="list-style-type: none"> ・新規事業開発における知財の位置づけ (レバレッジ、オープンイノベーション、エコシステム) ・課題×知財のマトリックス分析を活用した M&A・アライアンス候補探索 ・知財データを活用した未来推定によるイノベータ分析・KOL 探索 ● 投資戦略・企業価値向上に資する技術/特許の評価手法 <ul style="list-style-type: none"> ・経済的インパクトを織り込んだ技術/特許の評価 ・ESG/インパクト投資視点での技術/特許の評価・可視化 ・企業価値と R & D 投資・知財投資の相関分析 ● まとめ
<p>注意事項</p>	<p>1) 終了予定時刻は 21 : 45 ですが、若干延長となる場合があります。 遠方からご参加の方はご留意下さい。(22時までには完全終了予定)</p> <p>2) 本講座は、日本弁理士の「継続研修」の単位認定対象講座です。</p>